

中野区立向台小学校
校長 中村 明子


日本国憲法 教育基本法 学校教育法 教育公務員特例法
東京都教育委員会の 教育目標

<p>中野区教育ビジョン(第3次)</p> <p>教育理念 「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」 (1)子供たちは自分の可能性を伸ばし、豊かな人間性・社会性や確かな学力、健康・体力などの「生きる力」を身に付けている (2)一人ひとりが自立し、地域社会の一員として、生きがいをもって生活をしている</p>
--

<p>中野区教育ビジョン(第3次)</p> <p>目指す人間像 ○自らの力で道を切り拓く、進取の気概を持った人 ○多様な人間性を認め合い、思いやりにあふれる人 ○公徳心に富み、社会に役立つ人 ○家族、わがまち、そして自らの祖国を愛する人</p>
--

<p>学校教育目標</p> <p>○ 考える子</p> <p>○ 思いやりのある子</p> <p>○ 元気な子</p>
--

<p>学校の教育力</p> <p>1 Last1年、私たちの向台小学校を創る。 ①軸のぶれない学校を創る。 ②教わるから、工夫し創り出す経営参画に、意識を転換する。 ③自ら律し、服務を守る。</p> <p>2 子供の集団における生活力を向上させる。 ①個々の子供の良さを生かし、活躍の場を与えることで、集団の中で個を伸ばす。 ②あるべき姿を提示し努力させる指導で、主体的な集団参加を促す。</p> <p>3 子供の学力を向上させる。 (1)大きな声に着目した、授業と学校行事 ①あいさつ（こんにちは、おはようございます） ②歌声（校歌、学習発表会） ③授業中（発言、音読等） (2)問題解決的な授業とドリル学習で、学力向上 ①「驚き・調べてみたい」を大切に、自ら考え、先生や友達と共に解決する授業を実施 ②東京ベーシックドリル（前学年の習得） 漢字・計算ドリル（現学年の習得） ③自主学習（家庭学習）</p> <p>授業改善推進プラン あいさつ 進んで活動 心で聴く</p>

<p>子供が夢と希望をもち、自己実現を図る学校</p> <p>創造 協働 感動力</p> <p>自ら学び考え創造することで、夢や希望を引き寄せる喜びを味わわせる。 他人や社会、自然と共に生きる喜びを経験することで、自らの生き方に自信をもたせる。</p>  <p>SMILE & CHALLENGE</p>	
<p>統合再編</p> <p>1 さようなら向台小学校、ありがとう向台小学校 Last1年、私たちの向台小学校を創る。統合を円滑に進める。 ○最後の学校一年間を、学校・子供・保護者・地域が、一体となって創り上げることで、向台小学校への愛着を深め、有終の美を飾る。 ○統合新校『中野第一小学校』創立に向けて、桃園小学校と連携して、あこがれを醸成し、自分たちの学校を創る意志を明確にし努力させる。</p>	
<p>学力向上</p> <p>2 授業改善推進プラン「あいさつ・進んで活動・心で聴く」の定着学習規律、学習習慣の徹底で、学習環境をつくる。 ○学校図書館を活用した読書活動と、主体的な学習姿勢「あいさつ・進んで活動・心で聴く」で、言語能力の向上と学習規律の定着を図る。</p> <p>3 基礎的・基本的な学習の定着 東京ベーシックドリルにより、学力の定着を図る。 ○東京ベーシックドリルを活用して当該学年以前のつまずきに立ち戻る指導を行い、基礎学力の定着を図る。</p> <p>4 研究による活用力の育成を目指した授業改善 科学教育を充実し、「思考力・判断力・表現力」を育成する。 ○「問題解決的な学習を研究し、活用型の授業スタイルを日常の授業に取り入れて、活用力の育成を図る。 ○全校で自主学習に取り組み、家庭と協働して家庭学習の習慣化を図る。</p>	<p>豊かな心と体の育成</p> <p>5 国際理解教育、及び、特別活動の充実で、豊かな人間性の構築 外国語や国際理解教育、及び、学級づくりや代表委員会活動を通して、違いを認め合う心や、社会に貢献しようとする心を育む。 ○外国語や豊かな文化に触れる国際理解教育を通して、思いやりや社会性を育てる。 ○互いを認め合う学級づくりや、たてわり活動・代表委員会活動を通して、自己の役割や責任、有用感を自覚させる。</p> <p>6 丈夫でたくましい健康な体の育成、専門家による指導・交流 東京オリンピックを見据えトップアスリートとの交流により、体力向上を図る。 ○全校スポーツテスト（体力測定）により実態をつかみ、トップアスリートとの交流及び縄跳びや持久走によって、体力の向上を図る。</p> <p>7 子供の安全意識の向上を目指した安全教育の充実 生活安全・交通安全・災害安全を授業として指導し、意識の向上を図る。 ○登下校指導の強化と学期に1回の安全教育の授業で、「自分の身は自分で守る」意識の向上を図る。</p>

<p>家庭・地域の教育力</p> <p>1 笑顔で挑戦する大人の姿で子供に範を示す ○明るくあいさつする、学び続ける。 ○保護者、地域の方が、学習や行事に参加する機会を設定する。 ・82周年集会、ランニング大会、学校公開、運動会、学習発表会 ・連合運動会、校外学習、家庭科実習、読み聞かせ、ゲストティーチャー等 ○桃園小学校、幼稚園、保育園、こども園、中学校、市内施設と交流、連携を図る。 ・幼保小地域連絡会、小中連携の日</p> <p>2 躰を徹底する ○安全と基本的な生活習慣について保護者、地域が管理する。 ・社会ルールの遵守、虐待・養育放棄なし</p> <p>3 家庭、地域と願いを共有する ○学校・学級だより、HP、学校評価（アンケート）を活用する。 ・PTA 学校評議会 弥生地区委員会 ○町会の祭り・運動会、弥生地区祭り</p> <p>4 子供、学校関係者の安全対策、不審者対策に努める ○年間指導計画に沿った安全指導及び点検を徹底する。 ・防災計画、日直見回り、登下校指導、避難訓練、引き渡し訓練、セーフティ教室 ・PTA・保護者旗もち等安全活動、家庭・地域との協働 ・学校サポートチーム、民生委員</p> <p>5 学習環境・家庭環境を整える ○安心した環境づくりを推進する。 ・大人の言葉づかい、子供への認め励まし ・学校、家庭のルールの確立と徹底管理（帰宅時間、SNSルール、おこずかい）</p>
